

平成24年行政事業レビューシート

( 警察庁 )

<b>事業名</b>	公共ブロードバンド移動通信システム整備		<b>担当部局</b>	情報通信局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度(単年度事業)		<b>担当課室</b>	通信施設課		通信施設課長 塚原 秀利		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	複数施策(1~7)				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<p>現在使用している映像伝送機器はマイクロ波が中心で、電波の特性から伝送路上の障害物や地形の影響を受けやすく撮影場所が制約されることがある。 マイクロ波による映像伝送における問題を解消するものとして、地上アナログテレビジョン放送停波に伴う空き周波数を利用した公共ブロードバンド移動通信システムを整備する。</p>							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>事故や災害の状況把握のため、現場の映像を撮影し関係部所に伝送するシステムで、従来のマイクロ波とは異なり地上アナログテレビジョン放送停波に伴う空き周波数での超短波を利用したもので、従来のマイクロ波に比べて回折特性に優れ、障害物を迂回した映像送信が可能であり、移動通信として利用できる技術条件から、公共ブロードバンド移動通信システムを整備する。</p>							
<b>実施方法</b>	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	207	-	-	
		補正予算	-	-	0	-	-	
		繰越し等	-	-	0	-	-	
		計	-	-	207	-	-	
	執行額	-	-	0	-	-		
執行率(%)	-	-	0%	-	-			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 公共ブロードバンド移動通信システムの整備 (成果実績) 整備数		成果実績	式	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	同上		活動実績 (当初見込み)	施設数	-	-	-	-
					( - )	( 10 )	( - )	
<b>単位当たりコスト</b>	0(千円/事業費)		算出根拠	事業費				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	警察活動において、警察情報の伝達は必要不可欠なものであり、全国一律的に整備を進める必要があるため、国において実施する事業である。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	仕様書の作成、官報公示等行ったが、年度内に調達に至らなかったため支出等は行っていない。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	仕様書の作成、官報公示等行ったが、年度内に調達に至らなかったため実績なし。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
		当初、市場流通品の購入として計画していたところであるが、標準規格が制定されたことにより、市場流通品では当該規格を満たす製品がなく、新たに製品の開発期間が必要になったことから納期が確保できず、事業を実施することができなかった。	
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 今後、同種機器の調達に当たっては、的確な市場調査を行い、綿密な調達計画のもと十分な納期を確保し、事業を実施すること。	
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)	
現状通り		特になし(事業の終了)	
		補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)	
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-5

# 公共ブロードバンド移動通信システム

公共ブロードバンド移動通信システムは、移動しながらの映像送信や、伝送路上の障害物を迂回した映像送信(回折)が可能である。これらの特徴を生かし、災害現場や警衛・警備の現場から、臨場感ある映像を警察庁、警察本部等へ送信することが可能となる。

